

米国金融政策（2021年12月）

量的金融緩和の縮小加速を決定

2021年12月16日

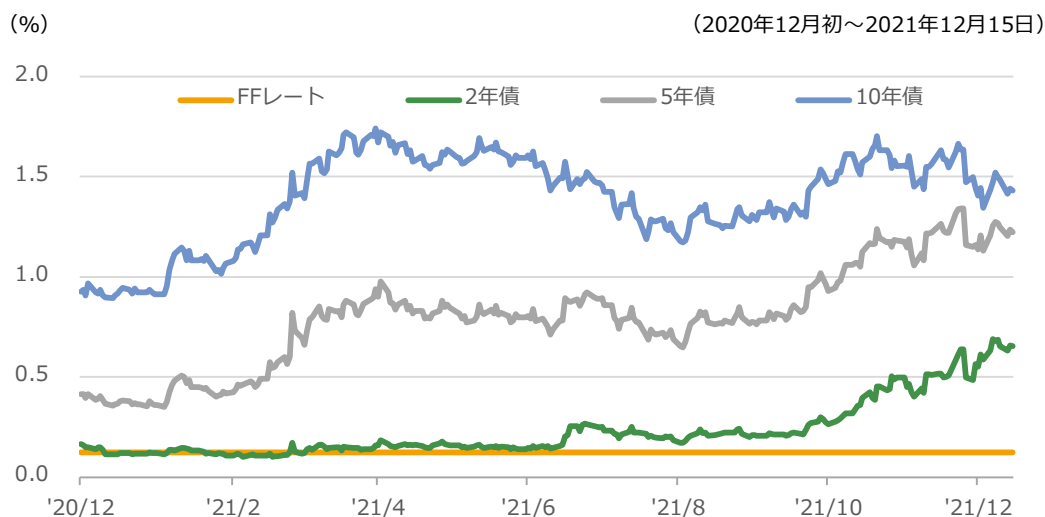
量的金融緩和は来年3月に終了の見込み

12月14・15日（現地）に開催されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）では、政策金利であるFF（フェデラル・ファンド）レートの誘導目標レンジを0～0.25%で据え置く一方、量的金融緩和である国債とMBS（住宅ローン担保証券）の買入れについては、今後、減額ペースを速めると決定しました。

FRB（米国連邦準備制度理事会）は11月のFOMCで国債とMBSの月間の買入れ額を、それまでの国債800億米ドル、MBS400億米ドルから、毎月国債を100億米ドル、MBSを50億米ドルずつ減額していくと決定していました。そのペースで減額すると、来年6月に量的金融緩和が終了する見込みでした。今回のFOMCでは、毎月の減額幅を国債200億米ドル、MBS100億米ドルに拡大すると決定しました。このペースで減額すると、量的金融緩和の終了は来年3月に早まると見込まれます。

また、3カ月ごとに発表されるFOMC参加者のFFレート見通しでは、来年3回の利上げ（利上げ幅を1回0.25%とした場合）を予想する参加者が多くなりました。9月FOMC時点では、1～2回の利上げ予想と据え置き予想が半々でしたので、この3カ月でかなり情勢が変化したことがうかがわれます。ただし、市場の織り込みも進んでいたため、FOMC後の市場の反応は比較的落ち着いていました。特に株式市場では、おおむね市場参加者の予想の範囲内であったFOMCの結果を、当面の不透明要因の解消と積極的に解釈した模様で、FOMC終了後に上昇しました。

米国の政策金利と国債利回り



※FFレートは誘導目標レンジの中心値を表示

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【広告審査済】